

お詫びと訂正

本書に以下の誤りが見つかりました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

箇所	誤	正
p.20 下から 11 行目	その町に住みやすさや	その町の住みやすさや
p.35 図 2 の下の絵の教師の発話	起こしてあげて下さい	起こしてあげてください
p.39 7 行目	働いたことのない人	働いたことのない人
p.43 「文法スキット」の 9 行目	事態	自体
p.49 下から 7 行目	「文脈化」されなった	「文脈化」されなかった
p.51 下から 4 行目	表現力が伸ばす	表現力が伸びる
p.53 下から 11 行目	同じよう質問しても	同じように質問しても
p.56 9 行目	「罰ゲーム」「天狗」など語句	「罰ゲーム」「天狗」などの語句
p.56 10 行目	ユーモラスであるともに	ユーモラスであるとともに
p.57 下から 6 行目	学習をまとめて	学習者をまとめて
p.60 10 行目	できるだけ多く作って	できるだけ多く使って
p.62 下から 10 行目	入るときには。「実は、	入るときには、「実は、
p.63 7 行目（下線ヌケ）	あ、そうですか。	<u>あ</u> 、そうですか。
p.67 注 22 の 3 行目	もう勘弁してくださいよ	もう勘弁してくださいよ
p.68 8～9 行目	これらの教授法の導入によって	これらの教授法の導入によって
p.69 下から 4 行目	「あ」が出できます。	「あ」が出できます。
p.71 16 行目	ろうそくの明かりを拭き消す	ろうそくの明かりを吹き消す
p.78 3 行目	「ア行」は「あ行」に。	「ア行」は「あ行」に、
p.81 5 行目	ギョ	グォ
p.81 10 行目	シャ	シャ
p.82 14～15 行目	片仮名表記を決めているよう思います	片仮名表記を決めているように思います
p.91 5 行目	まが、	まず、
p.91 9 行目	指を話したら	指を離したら
p.92 10 行目	そう簡単には撥音のイメージが	そう簡単には 発音 のイメージが
p.92 15～16 行目	単語や文を読ませるときに発音や促音が出てきたら	単語や文を読ませるときに 撥音 や促音が出てきたら
p.94 5 行目	生理的な区切り	生理的な 句 切り
p.95 2 行目	日々の学習に中で	日々の学習 の 中で
p.95 4 行目	区切りを書き込むように	句 切りを書き込むように
p.96 「日本語のリズム」の 4 行目	機関銃を打って	機関銃を撃って
p.98 3 行目	再び頂点の戻した	再び頂点に戻した
p.102 2 行目	イントルネーション	イントネーション
p.102 下から 1 行目	ことです、これは、	ことです。これは、
p.103 下から 5 行目	ようになります	ようになります。
p.115 1 行目	本章では、	本章は、
p.122 下から 6 行目	同様に、考えれば	同様に考えれば、
p.123 5 行目	オ～ナル	オ～ニナル
p.134 4 行目	すべて「お水」です。	すべて「お茶」です。
p.143 下から 8 行目	久しぶりでチャンピオンに	久しぶりにチャンピオンに
p.151 下から 2 行目	身に着けるのに	身に付けるのに
p.151 注 1 の 1 行目	「完了形」作るときに	「完了形」を作るときに
p.154 注 37 の 1 行目	オ住マイダ・イラッシャル	オ住マイダ・ デ イラッシャル
p.155 3 行目	文系	文型
p.160 5 行目	漢字	漢字
p.170 3 行目	いわゆる偏旁	いわゆる偏旁
p.173 5 行目	集まり出てきているので、	集まり で できているので、
p.182 下から 3 行目	味合わせる	味あわせる
p.183 注 7 の 2 行目	開いた	聞いた
p.183 注 12 の 1 行目	形のついて	形について